応援歌

スポーツ競技で母校の勝利を願って威勢よく歌う応援歌。「カイザー」は古代ローマの勇者カエサルに由来し「皇帝」の意。競技を応援するスタンドで誇らかに歌い継がれてきた。

作詞・作曲者は、日本コロムビアレコードが昭和初期に製作したレコード及び歌詞カードによって判明しているので、ここに表記することとした。作曲者の阪東政一は当時、本学の学生で、数多くの作品を世に出したという記録が残っている。

なお、最初、第３節まであった歌詞は下記のとおりであるが、第１節の「旋旗（せんき）」という歌詞は「旌旗（せいき）」の書き誤りと考えられる。さらに、長年歌い継がれるうち、いつしか同じ読みの「征旗」があてられるようになったが、このたび、学園歌集を発行するにあたり、本来の表記である「旌旗」にもどすことにした。

校歌　桃源千里　關西大學々生歌

阿賀杜里作詞
阪東政一作曲
杉田良造編曲

〔一〕紅千里桃源の
理想が丘の空高く
紫紺の旋（せん）旗輝ける
これぞ我等が關西大學
カイザー關大光りあり

〔二〕若きを誇る大丈夫（ますらを）が
眞理の討究高らかに
求めて進む學術の
白亞の峰ぞ關西大學
カイザー關大希望（のぞみ）あり

〔三〕千里ヶ丘に鐘を打ち
世に棹さして幾星霜
永き歴史を背負ひ立つ
これぞ我等が關西大學
カイザー關大力あり